

# 自動車リサイクル法に基づく2004年度 再資源化等の実績

## 1. 対象期間

2004年4月1日～2005年3月31日

## 2. 再資源化等の状況

	ASR ※1	エアバッグ類	フロン類
引取台数 ※2	引取使用済自動車台数 338 台	取外回収台数 1 台	CFC引取台数 77 台
	委託全部利用引渡 解体自動車台数 4 台	車上作動台数 8 台	HFC引取台数 33 台
		一部取外回収/ 一部車上作動台数 0 台	
合計 342 台	合計 9 台	合計 110 台	
引取重量 引取個数	引取ASR重量 103,670 kg	取外回収個数 ※4 2 個	CFC引取重量 36.3 kg
	委託全部利用引渡 ASR相当重量 945 kg	車上作動個数 16 個	HFC引取重量 18.6 kg
	合計【A】 104,615 kg	合計 18 個	合計 54.9 kg
再資源化 重量	再資源化施設 ※3 再資源化重量(①-②) 51,956 kg	再資源化施設の 引取重量【C】 0 kg	—————
	①施設投入重量 59,571 kg		
	②施設排出残渣重量 7,615 kg	※5	
	委託全部利用 再資源化重量(③-④) 945 kg	再資源化の 重量【D】 0 kg	
	③委託全部利用した ASR相当重量 945 kg		
	④排出残渣重量 0 kg		
合計【B】 52,901 kg			

※1. ASR: Automobile Shredder Residue 自動車シュレッダーダスト

※2. ASRとエアバッグ類とフロン類の引取台数は、それぞれ回収のタイミング、及び装備有無が異なるため台数は一致しません。

※3. ASR再資源化施設の基準適合状況は、下記の豊通リサイクル(株)のホームページをご参照ください。

<http://www.toyotsurecycle.co.jp/ASR/asr-receipt02.html>

※4. エアバッグ類の取外回収個数は指定引取場所において引き取った個数です。

※5. 指定引取場所に引き取った後、再資源化施設で引き取ったエアバッグ類の重量です。

## 3. 基準の遵守状況

再資源化率	ASR		エアバッグ類	
	実績	51 % (上表の【B】/【A】)	----- % ※6 (上表の【D】/【C】)	
基準	30%以上(2005年度～2009年度)		85%以上	

※6. 法施行後の期間が短く、取外回収されたエアバッグ類の再資源化施設への搬入実績が無かったため、再資源化率は算出できません。

## 4. 払渡しを受けた預託金および再資源化等に要した費用

(単位:円)

	ASR	エアバッグ類	フロン類	合計
払渡しを受けた預託金	3,318,400	17,550	292,630	3,628,580
再資源化等に要した費用	10,942,666	7,751,388	7,990,916	26,684,970
収支	△7,624,266	△7,733,838	△7,698,286	△23,056,390

以上

### ■再資源化等の実績の修正について

上記の2004年度再資源化等の実績は、公表日時点(2005年6月16日)のものです。

公表後、一部の再資源化委託施設の実績修正が行なわれたため、下記項目の数値を修正いたしました。

(2006年6月12日)

(修正項目)	(誤)	(正)
ASR再資源化施設再資源化重量	51,956kg	⇒ 51,103kg
ASR施設排出残渣重量	7,615kg	⇒ 8,468kg
ASR再資源化重量合計	52,901kg	⇒ 52,048kg
ASR再資源化率実績	51%	⇒ 50%

### ■払渡しを受けた預託金および再資源化等に要した費用の修正について

ASR払渡しを受けた預託金について金利払渡し金の加算漏れ及び再資源化等に要した費用について社内費用の一部減算漏れがありましたことにより、下記項目の数値を修正いたしました。

(2006年7月3日)

(修正項目)	(誤)	(正)	(単位:円)
ASR払渡しを受けた預託金	3,318,400	⇒ 3,318,416	
ASR再資源化等に要した費用	10,942,666	⇒ 10,940,493	
ASR収支	△7,624,266	⇒ △7,622,077	
合計払渡しを受けた預託金	3,628,580	⇒ 3,628,596	
合計再資源化等に要した費用	26,684,970	⇒ 26,682,797	
合計収支	△23,056,390	⇒ △23,054,201	